

E A 2 1



※2023年3月:岩手事業所
太陽光発電システム設置

2024
環境経営レポート

2024年4月～2025年3月
発行日：2025年5月30日



エコアクション21
認証番号 0013196

目次

	ページ
1. 会社概要	2
2. 対象範囲	2
3. 許可	3
4. 環境経営方針	4
5. 環境活動方針	5
6. 体制・役割・権限	6
7. 環境データ	7
8. 環境経営目標及び結果・評価	8
9. 環境経営計画達成への取り組み	9～10
10. コンプライアンス	11
11. コンプライアンス活動	12～13
12. 社内コミュニケーション	14～15
13. 教育・訓練	16～17
14. 活動事例	18～20
15. 社会貢献活動	21～23
16. 代表者による全体評価と見直し・指示	24

1. 会社概要

会社名	株式会社EJサービス
資本金	92百万円
本店所在地	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山4番地18
設立	2015年(平成27年)7月1日
代表者名	取締役社長(代表取締役) 菅野 告
環境統括者	取締役 牧元 浩一郎
環境管理責任者	安全・環境室長 中村 悦郎
URL	http://www.ej-service.co.jp/
従業員数	429名(2025年4月現在)
売上高	8,554百万円(2024年度)

2. 対象範囲

対象範囲	岩手地区・宮城地区・東富士地区(横須賀営業所・相模原出張所) ※山梨事業所(山梨県南アルプス市徳永1500番地)については ISO14001で活動中の為対象外
本店所在地	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山4番地18 Tel: 0197-44-5005 Fax: 0197-44-5006
設立	2015年(平成27年)7月1日
代表者名	取締役 牧元 浩一郎
主な事業	トヨタ自動車東日本の建築・土木・設備・電気工事の施工管理 ビル清掃、厚生施設管理、警備、産業廃棄物収集運搬 トヨタ自動車東日本従業員向けの各種保険窓口、旅行代理店業務 売店・自販機および物品販売、住宅メーカーの施工管理

3. 許可

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業許可証（岩手県）

許可番号：00300000627号
許可年月日：令和4年12月15日
有効年月日：令和9年12月14日
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
運搬車両の種類・台数：アームロール車1台

産業廃棄物収集運搬業許可証（神奈川県）

許可番号：01401000627号
許可年月日：令和4年7月1日
有効年月日：令和9年3月31日
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
運搬車両の種類・台数：トラック1台

産業廃棄物収集運搬業許可証（静岡県）

許可番号：02201000627号
許可年月日：令和3年3月1日
有効年月日：令和8年2月28日 ※25年度更新予定
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
運搬車両の種類・台数：アームロール車1台

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証（岩手県）

許可番号：00350000627号
許可年月日：令和5年7月12日
有効年月日：令和10年7月11日
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：廃油、廃アルカリ、汚泥
運搬車両の種類・台数：トラック1台

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証（静岡県）

許可番号：02251000627号
許可年月日：令和6年11月2日
有効年月日：令和11年11月1日
事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）
廃棄物の種類：引火性廃油、腐食性廃酸
運搬車両の種類・台数：トラック1台

一般廃棄物処理業許可証（金ヶ崎町）

許可番号：第6-11号
許可年月日：令和7年3月1日
有効年月日：令和9年2月28日
事業の範囲：収集・運搬（積替え・保管除く）
廃棄物の種類：一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥除く）
運搬車両の種類・台数：ダンプ1台、2トン車1台

一般廃棄物収集運搬業許可証（横須賀市）

許可番号：第34号
許可年月日：令和6年10月1日
有効年月日：令和8年9月30日
事業の範囲：一般廃棄物収集運搬（積替え・保管除く）
廃棄物の種類：一般廃棄物（ごみ）
運搬車両の種類・台数：キャブオーバー1台

建設業

建設業許可（一般）

許可番号：国土交通大臣 許可(般-6)第16672号
許可の有効期限：令和7年3月20日から令和12年3月19日
建設業の種類：消防施設工事業

建設業許可（特定）

許可番号：国土交通大臣 許可(特-6)第16672号
許可の有効期限：令和7年3月20日から令和12年3月19日
建設業の種類：土木工事業、大工工事業、屋根工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、板金工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、建具工事業、解体工事業、建築工事業、左官工事業、石工工事業、電気工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、しゅんせつ工事業、ガラス工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、水道施設工事業、とび、土工事業

4. 環境経営方針

【企業理念】 トヨタ基本理念を踏襲

トヨタ基本理念

1. 内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民をめざす
2. 各国、各地域の文化・慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する
3. クリーンで安全な商品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて、住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む
4. 様々な分野での最先端技術の研究と開発に努め、世界中のお客様のご要望にお応えする魅力あふれる商品・サービスを提供する
5. 労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる
6. グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長をめざす
7. 開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する

<1992年1月制定・1997年4月改定>

【環境経営方針】

1. 国や地方自治体などの環境法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
2. 提供する製品やサービスなどを通じ環境負荷低減に貢献します。
3. 温室効果ガスの排出削減に努めます。
4. 廃棄物を低減するため、リデュース・リユース・リサイクル活動を推進します。
5. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域環境保護活動に貢献します。
6. この環境方針達成のため、環境目的・目標を設定し、定期的に見直し、継続的改善に努めます。

この環境経営方針は、従業員へ周知するとともに利害関係者へ開示します。

制定日：2019年10月1日

改訂日：2021年10月1日

改訂日：2025年 1月1日

環境統括者：牧元 浩一郎

5. 環境活動方針

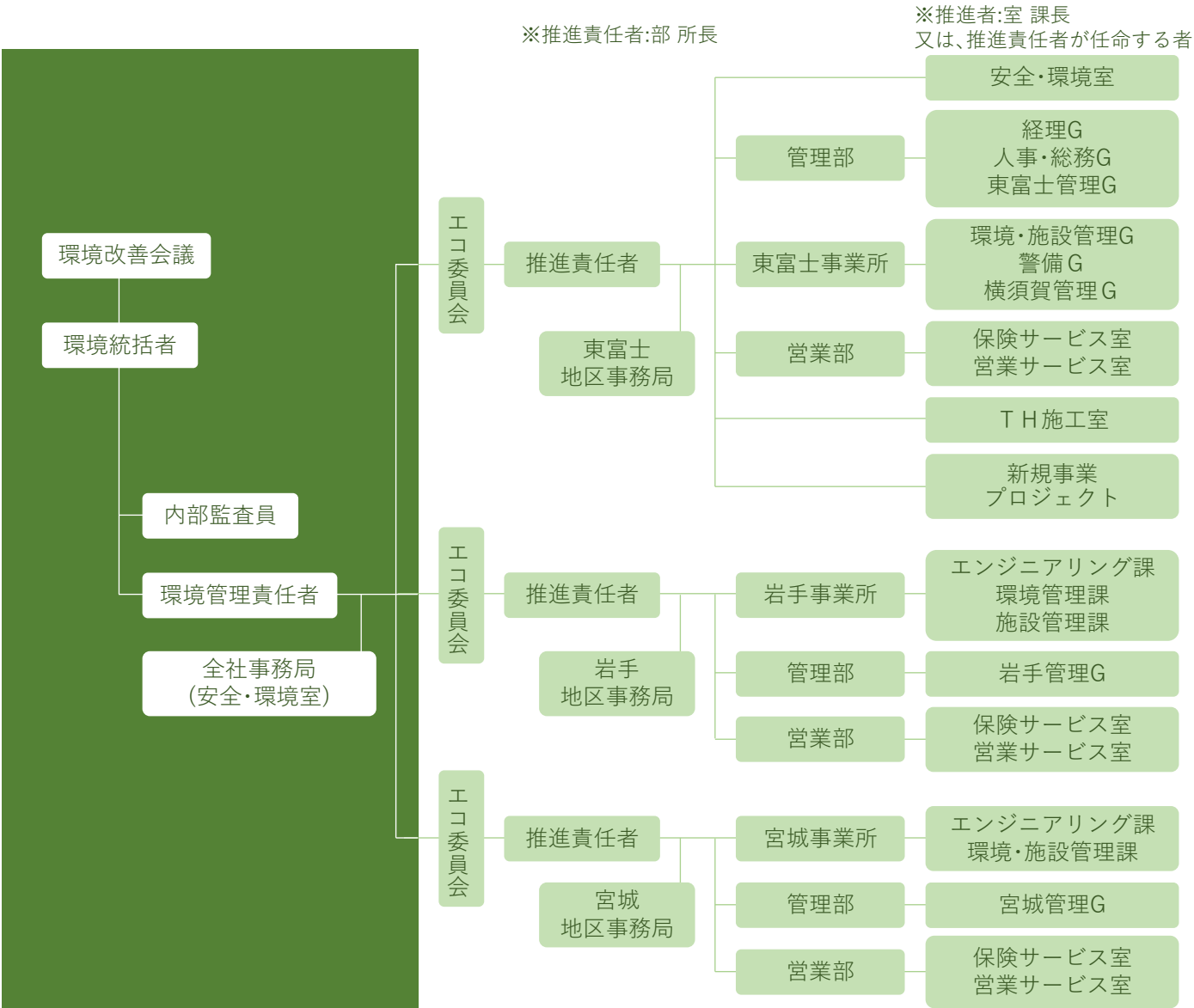


2024年度 環境活動方針



考え方	重点推進事項
コンプライアンス コンプライアンスの積上げ     	- 環境法令・EA21ガイドライン・各マニュアル 標準書等のルール順守、各帳票・各帳票整備 継続 - 社内・TMEJ・関連会社の環境法令違反、ヒヤリ事例を基に 教育を実施し、知識・意識向上を図る - 環境パトロールによる異常・苦情の未然防止 緊急事態訓練の継続
環境負荷低減 CN対応・CO2削減への取組み    	- 国際認証制度推進を受け2019年比で2035年迄に CO2排出68%低減を推進 【2024年エネルギーCO2排出低減目標】 23年実績:149,010kg-CO2から 8,500kg-CO2低減 - 本来業務での環境負荷低減活動の継続
人材育成 全従業員の環境意識向上の継続 	- 地区事務局間で・他社情報等を共有し オールEJサービスで社会貢献活動を含む 環境活動活性化を継続 - 内部監査員の新規育成 外部講習活用での教育を継続

6. 体制・役割・権限



役割および責任権限	統括者	管理責任者	全社事務局	推進責任者	推進者	地区事務局	内部監査員
適用範囲・活動の明確化	◎						
代表者による経営課題とチャンスの明確化	◎	○	○	○			
環境経営方針の策定	◎						
環境負荷と環境への取組状況の把握および評価				◎	○	○	
環境関連法規などの取りまとめ			◎			○	
環境経営目標及び環境経営計画の策定				○	◎	○	
実施体制の構築	◎			◎			
経営資源の用意	◎						
教育・訓練の実施					◎	◎	
環境コミュニケーションの実施【環境改善会議】		◎	○			○	
環境コミュニケーションの実施【エコ委員会】				◎	○	○	
実施および運用				◎	◎	○	
環境上の緊急事態への準備および対応				○	◎	○	
文書類の作成・管理	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
当事業所状況の確認・評価、ならびに問題の是正および予防		○	◎	○	○	◎	◎
代表者による全体の評価と見直し・指示	◎	○	○	○	○	○	
環境経営レポートの作成および公表と活用	◎	◎	◎			○	

凡例：◎主管 ○関連者

7. 環境データ

2024年度実績 (2024年4月～2025年3月)

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	電力 ※岩)CO2排出係数:0.460	kwh	— ※	— ※	48,922	48,922
	灯油	L	—	—	896	896
	LPG	kg	— ※	— ※	73	73
	ガソリン	L	17,383	5,761	8,681	31,825
	軽油	L	939	4,316	8,444	13,699
エネルギーCO2排出量合計		kg-CO2	42,003	24,635	60,654	127,292
可燃ごみ排出量		kg	36	180	19	235
水使用量		m ³	— ※	— ※	341	341
産業廃棄物排出量		kg	1,300	11,060	65,353	77,713
特別産業廃棄物排出量		kg	0	0	342	342
収集運搬量		t	68	0	173	241
化学物質使用量		kg	0	0	600	600

※宮城地区・東富士地区が賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。

※2025年2月から岩手地区購入電力が再生可能エネルギー購入に変わりました。

2023年度実績 (2023年4月～2024年3月)

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	電力 ※岩)CO2排出係数:0.483	kwh	— ※	— ※	43,947	43,947
	灯油	L	—	—	1,084	1,084
	LPG	kg	— ※	— ※	82	82
	ガソリン	L	20,861	5,309	8,394	34,564
	軽油	L	786	3,461	8,623	12,870
エネルギーCO2排出量合計		kg-CO2	49,499	21,321	66,328	137,148
可燃ごみ排出量		kg	42	229	17	288
水使用量		m ³	— ※	— ※	260	260
産業廃棄物排出量		kg	1,280	5,659	145,445	152,384
特別産業廃棄物排出量		kg	0	0	263	263
収集運搬量		t	67	0	188	255
化学物質使用量		kg	0	0	420	420

※宮城地区・東富士地区が賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。

2022年度実績 (2022年4月～2023年3月)

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	電力 ※岩)CO2排出係数:0.457	kwh	— ※	— ※	72,675	72,675
	灯油	L	—	—	1,000	1,000
	LPG	kg	— ※	— ※	95	95
	ガソリン	L	17,665	6,517	12,840	37,022
	軽油	L	1,343	2,939	12,002	16,284
エネルギーCO2排出量合計		kg-CO2	43,724	22,682	97,279	163,685
可燃ごみ排出量		kg	71	228	19	318
水使用量		m ³	— ※	— ※	273	273
産業廃棄物排出量		kg	3,050	8,937	100,797	112,784
特別産業廃棄物排出量		kg	0	0	791	791
収集運搬量		t	55	0	72	127
化学物質使用量		kg	0	0	36	36

※宮城地区・東富士地区が賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。

CO2排出量
単位：kg-CO2



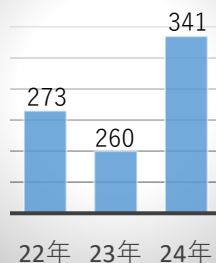
可燃ごみ
単位：kg



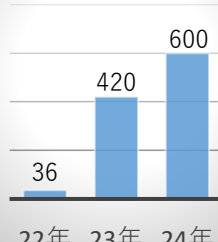
産業廃棄物
単位：kg



水
単位：m³



化学物質
単位：kg



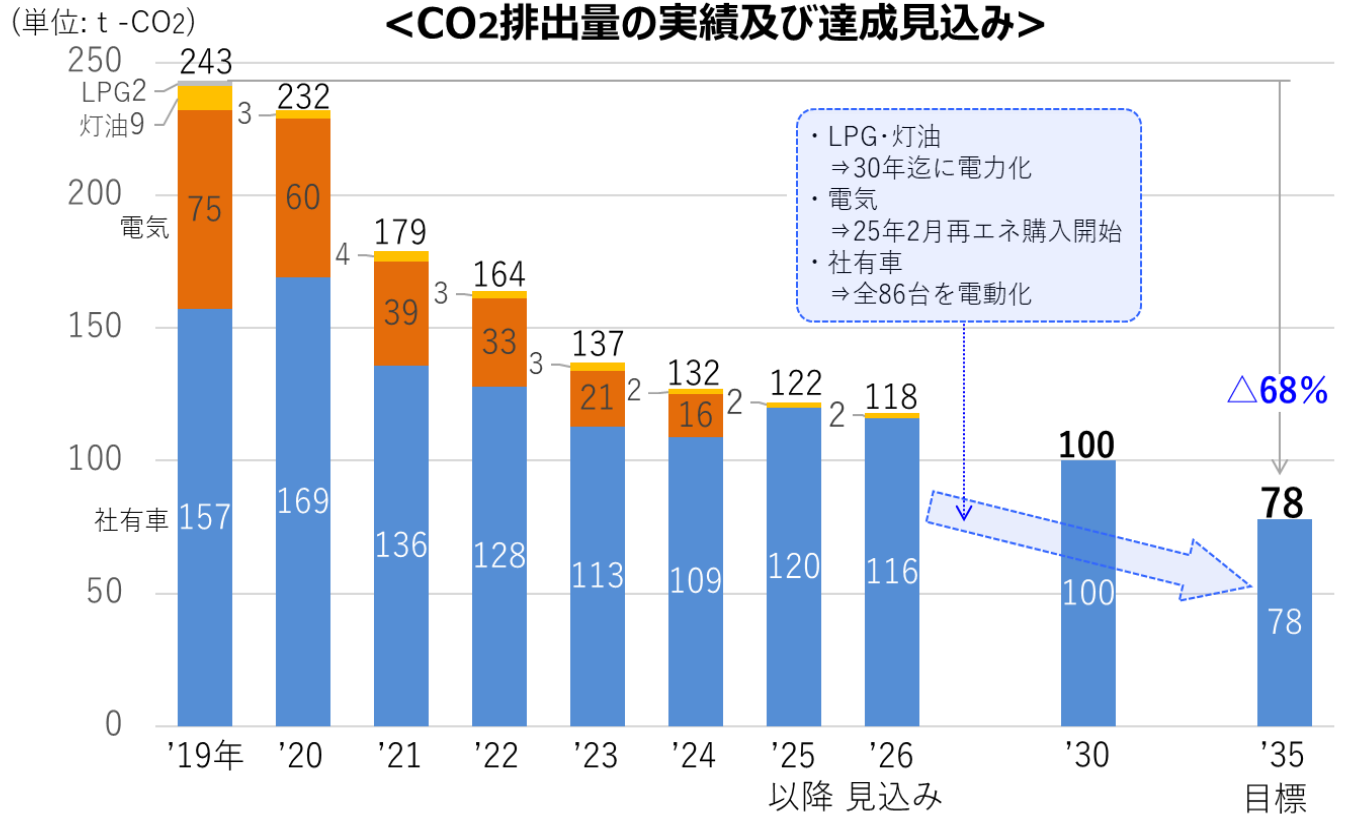
8. 環境経営目標及び結果・評価

項目(単位)	年度 目標・実績・評価	2019年度	2024年度				2025年度		2026年度	
		【基準年度】 実績	目標	実績	評価	基準年比	目標	基準年比	目標	基準年比
電力使用によるCO2削減 (kg-CO2)		75,328	19,897	15,881	○	-79%	0	-100%	0	-100%
LPG使用によるCO2削減 (kg-CO2)		2,227	232	206	○	-91%	172	-92%	138	-94%
灯油使用によるCO2削減 (kg-CO2)		8,345	2,730	2,256	○	-73%	1,880	-77%	1,504	-82%
車両使用によるCO2削減 (kg-CO2)		156,702	109,241	108,949	○	-30%	120,448	-23%	116,358	-26%
CO2排出量 合計 (kg-CO2)		242,602	132,100	127,292	○	-48%	122,792	-49%	118,292	-51%
可燃ごみの削減 (kg)		373	257	235	○	-37%	233	-38%	231	-38%
水使用量の削減 (㎡)		1,371	449	341	○	-75%	449	-67%	449	-67%
産業廃棄物の削減 (kg)		268,724	150,860	77,713	○	-71%	76,936	-71%	76,167	-72%
特別産業廃棄物の削減 (kg)		901	260	342	×	-62%	339	-62%	336	-63%
化学物質使用量の削減 (kg)		71,679	416	600	×	-99%	594	-99%	588	-99%
環境に配慮した収集運搬業務 建設業のサービス改善		環境経営計画達成への各部署具体的取組み内容(事項)								
地域社会とのコミュニケーション 地域環境保護活動		親会社の活動に積極的に協力。地区独自の活動も社内で横展開し オールEJサービスで地域社会に貢献し続ける。(参加率:100%)								

※水使用量の目標値は、親会社の指針により2018年実績とする
 ※特・産業廃棄物、可燃ごみ、化学物質量は前年比1%ずつ低減

国際認証制度推進に向けた取組 (親会社と同調)

2019年CO2排出量実績から2035年までに68%の削減を目指す



9. 環境経営計画達成への取組み

1) 東富士・横須賀地区

部署	カテゴリー	取組内容	目標値	実績	評価
オール 東富士 横須賀	CO2・廃棄物 水使用低減	「私の環境行動」 節電・節燃料・節水・3Rに 関する行動を実行する活動(22項目) ※エネルギー使用量は親会社の使用量に含まれ 把握できない為、3年計画で実行していく 環境行動を決めて活動を実施。	3年計画での目標 ・24年度×3個以下/1人 ・25年度×2個以下/1人 ・26年度×1個以下/1人 実行出来なかった項目数 目標2,802個以下	182個	○
管理G	廃棄物低減	窓付封筒分別での廃棄物低減	低減量 4,665g以上	4,907g	○
環境 施設管理 G	水使用量低減	清掃作業後の洗濯回数見直しと 汚れに応じたすすぎ回数による 水使用量低減	水使用量 20.1k ℓ 以下	17.6k ℓ	○
警備 G	本来業務での 環境活動	警備区域から敷地外への 油流出を警備の視点で予防	発見時対応 100% (油流出:無し)	100%	○
横須賀管理 G	廃棄物低減	可燃・不燃ごみ分別、私用ごみの 持帰りによる廃棄物低減	廃棄物量 19.7kg以下	14.2kg	○
安全 環境室	本来業務での 環境活動	環境パトロールで 異常・苦情の未然防止活動	気付き改善率 100%	100%	○
	室員の 環境意識向上	環境トレンドをキャッチし 輪番制で室員に展開する	実施率 100%	100%	○
経理G	CO2排出低減	年休取得推進(在宅 含)による 通勤に伴うCO2排出低減	268.91kg-CO2以上低減	494.76kg-CO2	○
人事・総務G (人事)			16.64kg-CO2以上低減	17.12kg-CO2	○
人事・総務G (総務)			236.81kg-CO2以上低減	327.24kg-CO2	○
営業 サービス室			年休取得108日 (12日/1人×9名)	140日 (393.8kg-CO2低減)	○
保険 サービス室		保険更改手続きのWeb化による 紙資源の低減	Web手続き率 45%以上	60.3%	○
T H 施工室	廃棄物低減	販売店施工現場の混合廃棄物の 混合率を下げる	混合率 15%以下	17.9%	×
新規事業P	CO2排出低減	年休取得推進(在宅 含)による 通勤に伴うCO2排出低減	93.5kg-CO2以上	311.5kg-CO2	○

9. 環境経営計画達成への取組み

2) 岩手地区

部署	カテゴリー	取組内容	目標値	実績	評価
管理G	CO2排出低減	有給取得(会社目標の15日)により 通勤車両のCO2排出低減	低減量 185.35kg-CO2	240.4kg-CO2	○
エンジニア リング課		客先・自らの効率化に寄与する提案 ・見積時のVE/CO2排出低減 ・省エネ機材の提案 ・自らの作業の効率化を図る 作業改善・原価低減提案	低減量 3,872kg-CO2以上	4,974kg-CO2	○
環境管理課	本来業務での 環境活動	課員の環境意識向上 【ゴミの持ち帰り・3S 照明の節電・PCの節電】	チェックシートによる 日々確認 実施率93%	96%	○
施設管理課	CO2排出低減	車両ガソリン使用低減 ・運転の仕方、積荷低減 給油方法見直しによる低減	平均燃費 18.62km/L	平均燃費 19.56km/L	○
営業 サービス室		PC電力カットによるCO2排出低減 ・ピーク時にコンセントを抜く	低減量 37.63kg-CO2	37.63kg-CO2	○
保険 サービス室		自動車保険更改手続きの電子化 ・紙使用低減	対前年比25%UP 電子化率 80%以上	81.2%	○

3) 宮城地区

部署	カテゴリー	取組内容	目標値	実績	評価
オール宮城	CO2低減	年休12日/人・年 取得による 通勤車両のCO2低減	取得日数 773日以上	1,011日	○
		「私の環境行動」 節電・節燃料・節水・3Rに 関する行動を実行する活動(22項目) ※エネルギー使用量は親会社の使用量に含まれ 把握できない為、3年計画で実行していく 環境行動を決めて活動を実施。	3年計画での目標 ・24年度×4個以下/1人 ・25年度×3個以下/1人 ・26年度×2個以下/1人 実行出来なかった項目数 目標2,976個以下	457個	○

10. コンプライアンス

適用法令と順守状況

1) 違反・苦情の発生状況

コンプライアンス違反および苦情の発生はありませんでした。
また、関係当局からの違反等の指摘もありませんでした。

2) 適用法令及びその順守状況の結果等

法令等の名称	対象設備・役務等	確認月	確認結果
家電リサイクル法	エアコン・ＴＶ・冷蔵庫・洗濯機・衣類乾燥機	実績なし	
建設リサイクル法	建設工事・解体工事	実績なし	
自動車リサイクル法	社有車	実績なし	
廃棄物処理法			
収集運搬処理業	許可証 契約書類締結 収集運搬車両に係る表示 携帯義務確認	'25.3月	適合
排出事業者	保管状況 マニフェスト保管 契約書類締結 年間排出量の報告	'25.3月	適合
フロン排出抑制法	東富士・宮城・岩手地区売店の 冷蔵ケース・冷凍ケース	'25.3月	適合
騒音・振動規制法	岩手事業所 コンプレッサー・シャーリング	'25.3月	適合
消防法	岩手事業所 危険物保管庫	'25.3月	適合
浄化槽法	岩手事業所 浄化槽	'25.3月	適合
条令	産業廃棄物に関する条例 委託先調査の実施	'25.3月	適合

確認方法：順守項目は内部環境監査チェックリストにより確認しています。

11. コンプライアンス活動

1) 内部監査

25年.3月に東富士、岩手、宮城地区 内部環境監査を24年度新監査員の新たな視点で実施。

—	東富士地区	岩手地区	宮城地区
指摘事項	0 件	0 件	0 件
気付き事項	3件	5件	1件

※気付きへの対応:残り1件

気付き事項の主な内容

- ①各種掲示内容の整合:5件 (見やすさ含む)
- ②緊急事態訓練実施結果記録への訓練の為の手順有効性・見直し有無の記載
- ③設備の一部破損
- ④帳票確認欄の追加
- ⑤環境実施計画への実績記載漏れ

2) 環境パトロール

見過ごしているリスクの発見、法令・ルール of 順守状況確認等

現地現物で異常・苦情の未然防止活動を計画的に実施。

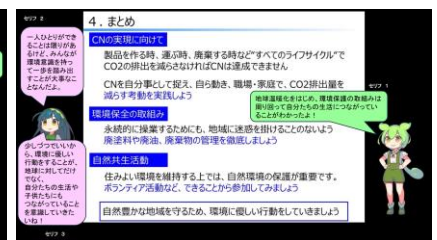
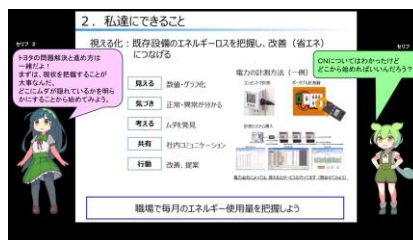
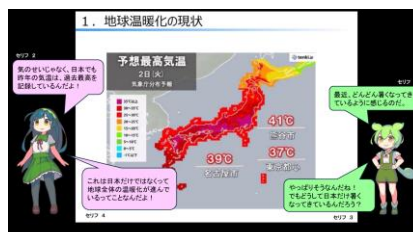
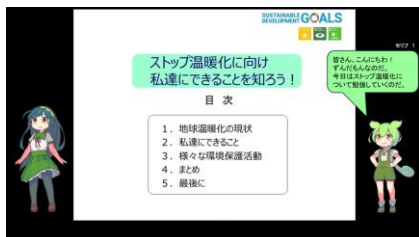
エコステーション、各保管庫内等の保管・美化状況及び、掲示内容・保管量の整合・SDS保管状況等を現地現物で確認



3) CSRミーティング

環境月間を活用し、ストップ温暖化に向け、私たちにできる事を皆で考え

寄せ書きに宣言してもらう事での意識向上、実践してもらう事での環境負荷低減を目指す。



4) 保有設備の确实な法令点検（岩手地区）

【EJ】サードハンド事業所 活動記録(23年前)

[illegible][illegible]

浄化槽保守点検記録

5) 積極的な冷蔵機器の点検 (各地区営業サービス室)

親会社の従業員向け売店に設置している冷蔵冷凍機器に対して
フロン排出抑制法に基づく簡易点検を毎月実施する事で、フロン漏洩の未然防止に繋げると共に
フィルター清掃・霜取りを積極的に行い、機器のパフォーマンス向上によるCO2排出低減に努めています。

機器レイアウト



占檢表

[illegible]

レイアウトに基づき、1台ずつ点検・フィルター清掃等を実施

6) 警備業務を通じた敷地外漏洩未然防止活動(東富士地区)

受託した警備区域では、巡回業務に環境目線を取り入れて、漏洩の早期発見に努め敷地外への漏洩を未然防止すると共に、お客様のコンプライアンスに寄与する活動を行っています。

[illegible]

見逃しの無いよう
作業標準書に落とし込み
チェックリストで確認

[illegible]

12. 社内コミュニケーション

2) 環境改善会議

年度方針の伝達、各部署活動報告、計画進捗状況のレビュー・指示、法令改正の解説・伝達
良い提案の展開等、四半期に一度開催する会議。

6月

1. 環境活動方針展開状況
 - 1) EA21更新審査日程
 - 2) 環境月間取組み
 - 3) 環境パトロール状況
 - 4) 環境データ
2. まとめ

9月

1. 前回会議の展開状況
2. 環境活動方針展開状況
 - 1) EA21更新審査状況
 - 2) 環境月間取組み終了
 - 3) 環境パトロール状況
 - 4) TAGA 電力供給拡大
 - 5) 内部監査員認定教育
3. まとめ

12月

1. 前回会議の展開状況
2. 環境活動方針展開状況
 - 1) 内部環境監査計画(案)
 - 2) 環境パトロール結果
 - 3) TAGA 電力供給拡大
 - 4) 環境データ
 - 5) 機密文書処理状況
 - 6) スキルアップ活動
3. まとめ

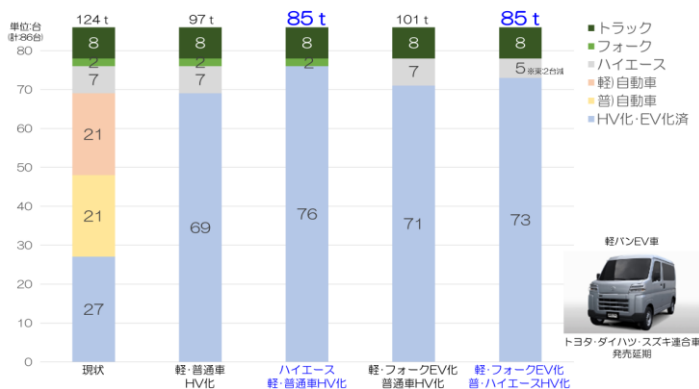
'25年 3月

1. 環境活動方針展開状況
 - 1) 環境パトロール結果
 - 2) 24年 CN取組み実績
2. 25年度 環境活動方針・推進計画
 - 1) 環境データ
(社有車HV化・EV化更新 想定)
 - 2) 環境資格取得に向け
4. まとめ

カーボンニュートラル推進の為、会議内で議論を重ねて活動を進めています

社有車HV化・EV化に伴う、想定年間CO2排出量（最終目標：86 t-CO2）

考え方：25年2月CO2排出状況を基に、12カ月で年間排出量を算出。
どこまでHV化・EV化を進めれば最終目標達成するかの目安とする。※名義二酸化炭素排出係数28.85t/CO2を想定



※ 軽・フォークリフト以外の車両をHV化すると目標達成見込み。
フォークリフト・軽自動車をEV化するとハイエース並みの車両在何台か保有できる。

社有車HV化・EV化に向けた想定

アクセルトレーニング

「アクトレ」の概要

「アクトレ」は、自動車のアクセル操作を改善、習慣化することで、
自動車事故の削減 および ガソリン消費量の抑制。さらには CO2排出量の削減 にも結びつける取り組み。
カーボンニュートラル、SDGsの実現に貢献し、地域社会全体の意識向上・環境安全に繋がります。



運用でのCO2排出低減に向けた取組み (社有車運転方法見直し)

13. 教育・訓練

3) 緊急事態訓練 (東富士・横須賀地区)

スピルキッド・社有車に備置している吸着シートの保管場所を確認。社有車からの油漏れを想定した訓練を作業標準書を基に実施し備品の使用方法、緊急時の行動を確認しました。
参加できなかったメンバーに対して、各部署教育を行い、全員で緊急時対応方法を共有し作業標準書等の有効性・改訂の必要がない事が確認できました。

<訓練の様子>



スピルキッド保管場所・使用方法確認して訓練実施



(岩手地区)

地震発生に伴う停電を想定し、浄化槽エアブロアモーターを復旧する緊急事態訓練を実施。
作業標準書を基に訓練を実施し、作業標準書の有効性・改訂の必要が無い事を確認する事ができました。

<訓練の様子>



(宮城地区)

社有車から油が漏洩したことを想定し、訓練実施。
作業標準書の内容で対応し、手順が適正か評価を行いました。

<訓練の様子>



訓練終了後、追加検討事項の有無を確認。
作業標準書の有効性・改訂の必要が無い事を皆で確認しました。



1 4. 活動事例 (東富士・横須賀地区)

1) CO2削減の取組み

非稼働中待機電力低減の取組み

春・夏・冬期連休中に加え、非稼働中の電力を切る取組みを実施しCO2低減を図りました。

2024冬



連休中の待機電力低減活動

～年末年始も変わらぬ協力をお願いいたします～

2024年 12月 14日
総合センター地区ごみ処理場長 斎藤 雅彦



【居室内】



・照明、・空調
→人がいないエリアは電源オフ

【共用 お茶室】



・冷蔵庫、・給湯器
→管理者さんがけん引し電源オフ

【共用 会議室、更衣室、トイレ】



・照明、・空調、・プロジェクター
・トイレ便座
→使用後は電源オフ、コンセントオフ

【居室内 OA機器】

・複合機



・シュレッダー機



・大型モニター



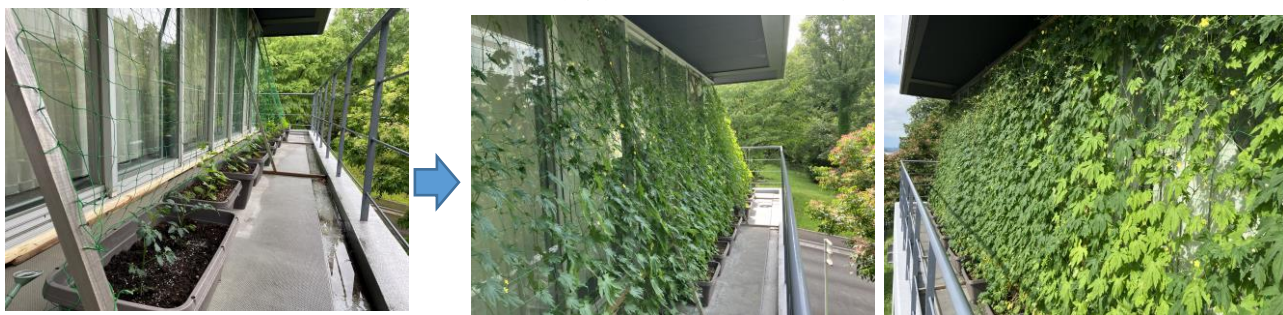
・サーキュレーター



→連休中の切り忘れがないよう
みなさんひとりひとりが確認し
コンセントOFF！

ゴーヤカーテンによる夏の節電

夏の暑さを和らげ、エアコンの稼働を抑える事でCO2削減に貢献したい思いで
24年度もベランダにゴーヤカーテンを作り、環境意識を高めました。



2) 本来業務での環境負荷低減活動

《保険:契約書類のWeb化》



24年度目標:45%



web手続

24年度績:60.3%
効果:○15.3%(紙使用低減)

《清掃:洗濯のすすぎ回数見直し》

清掃で使用した備品を
1回/日洗濯



23年度実績 約21.3kℓ/年



汚れに応じて
洗濯のすすぎを1回へ



効果:24年度実績 約17.6kℓ/年
3.7kℓ/年低減(水使用低減)

1 4. 活動事例 (岩手地区)

1) 電気使用でのCO2排出削減・太陽光発電・グリーン電力の有効活用

水道水活用による太陽光パネル融雪で発電量を増やす(冬期)



購入電力をグリーンエネルギーへ変更(25.2月～)

【ENEOSの特別高圧・高圧電気】

再生可能エネルギー由来の電気で、
持続可能な社会の実現に貢献するお客さまをサポート

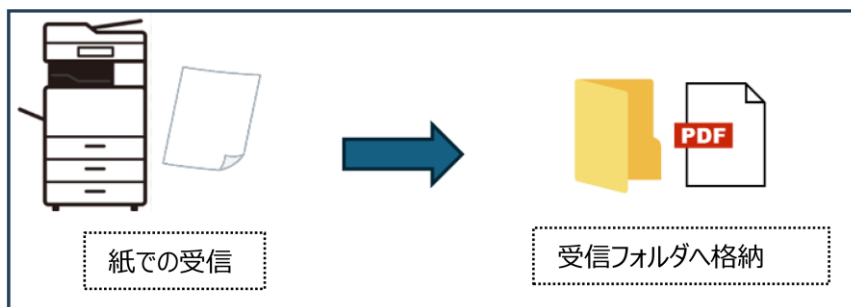
 気候変動対策に、わたしたちができること



ENEOS Power株式会社

2) 紙使用低減

FAX受信時の紙出力をPDFデータとしてフォルダへ格納



A4コピー用紙
3,960枚低減
316.8 kg-CO2/年

3) シュレッダーを廃止し、溶解処理へ変更

* コピー用紙1枚 0.08Kg-CO2で算出



①日本郵便

日本郵便の紙のリサイクル

廃紙リサイクルサービス

廃紙を回収し、再生紙に生まれ変わる。

1年間にかかる金額(概算)
72kg(年間排出量) ÷ 20kg(大箱の容量) × 4箱
2,965円(1箱あたり) × 4箱 = 11,860円/年

導入以降の8月～翌年3月実績で
48Kg削減。

1 4. 活動事例 (宮城地区)

1) シュレッダーを廃止し、溶解処理へ変更



事務所内のごみ削減の為、8月よりシュレッダーを撤去。
機密文書処理ボックスを導入し、溶解処理でリサイクル
されるようになりました。

導入以降の9月～翌年3月実績で
一般ごみを前年比
約30%(37.7Kg)削減。

2) お知らせを配信するモニターを設置



掲示板に紙で貼り出していたお知らせを
モニターに映し、電子化することで
コピー用紙を削減。
出入口近くに設置することで
より皆さんの目に留まるようになりました。

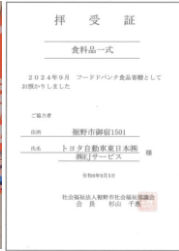
コピー用紙：約 24枚/年(2枚/月×12ヵ月)
年間削減量：約1.92 kg-CO2/年

* コピー用紙1枚 0.08Kg-CO2で算出

15. 社会貢献活動（東富士・横須賀地区）

1) フードドライブ・ペットボトルキャップ収集・きってきppe活動

家庭に眠っている食料やペットボトルキャップ、使用済み切手を寄贈し
様々な支援に活用してもらう活動を実施しました。



フードドライブ収集品
裾野市社会福祉協議会へ寄贈



ペットボトルキャップ
裾野市商工会議所へ寄贈



使用済切手
宮城地区からJOCSへ寄贈

2) 美化活動

東富士・横須賀地区の皆で、職場の周りのごみを拾い、地域の美化活動に貢献しました。



東富士地区 美化活動状況



横須賀地区 美化活動状況

1 5. 社会貢献活動 (岩手地区)

1) 金ケ崎町クリーン作戦に参加

4月15日(月)金ケ崎町主催のクリーン作戦に27名が参加しました。

春とは思えないほど暑い中、車両に十分注意しながらゴミを拾い、今年も金ケ崎町へ貢献できました。



2方向で実施



2) フードドライブ活動

**8/20(火)～8/29(木)
フードドライブを実施します**

フードドライブは・・・
家庭で余っている食品を持ち寄り、
それらを必要としている方々へ寄付する活動です。

高利用度・高消費食品

- ・お米
- ・乾麺
- ・レトルト・インスタント食品
- ・缶詰などの保存食品
- ・お菓子
- ・ジュース、コーヒー、お茶等の飲料
- ・調味料
- ・食用油
- ・その他 常温保存可能な食品

※賞味期限が2か月以上の食品

高付加価値・高消費食品

- ・常温で保存できない物
- ・開封されている物
- ・賞味期限が明記されていない物
- ・アルコール類 (みりん・調理酒を除く)
- ・手作り品

ご自宅に眠っている未開封の食品がありましたら、是非ご寄付下さい。
※ご提供いただいた食品は、TMEを通じて、食に困っている方々へ配布されます。

【参加方法】
管理G6(井田さん)に、回収箱と、名簿を設置致します。
お持ちいただいた食品を回収箱へ入れて下さい。
(回収BOXに入れる際は、名簿に②の記入をお願いします。)

8/20(火)～29(木)事業所で活動,【13.8kg】のフードが集まりました。
→9/5(木)TMEJ通し社協に寄与されました。



9/5(木)【CSR活動】フードドライブ寄与

3) 秋のクリーン作戦・所内側溝清掃・ペットボトルキャップ収集

10/29(火) 秋のクリーン作戦 in 岩手



11/12(火)所内側溝清掃



ペットボトルキャップを寄付
「世界の子供にワクチンを日本委員会」

ペットボトルキャップ収集証明書

発行日: 令和7年10月30日

株式会社 J サービス 様

貴社より、廃プラスチック原料としてキャップを下記数量に引き取り受領した事実を
証明いたします。

品名	キャップ
数量	1,000個
単位	kg
寄附金額	200円
ボタボタキャップで	約1,000個
合計	令和7年10月30日

ご提供いただいたペットボトルキャップの数量を
「世界の子どもにワクチンを日本委員会」にて寄付させていただきます。
ご寄付は、その数量に応じたワクチンに引き換えで最上級の子どもたちへ届けます。
当館の運営、ご協力ありがとうございます。

株式会社 Peace ing
代表取締役 小島 誠
〒980-0001 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1
TEL: 022-233-8888 FAX: 022-233-8889

皆様、分別へのご協力ありがとうございました。
今後も宜しくお願い致します。

15. 社会貢献活動（宮城地区）

1) 親会社・地域コミュニティとの連携・支援を目指した社会貢献活動



南三陸町きりこ(切り絵)



大和まほろばまつり



災害ボランティア
コーディネーター養成講座



七北田川クリーン運動



島田飴づくり



東日本大震災復興記念庭園の整備活動



ラリーチャレンジ利府運営ボランティア

2) フードドライブ活動 他



※きってきって・エコキャップ運動 他 実施

今後も社会貢献活動を通じ、地域の皆様から信頼され

子供を働かせたいと言ってもらえる企業を目指して活動を進めます。

16. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境経営方針の見直しの必要性 あり ・ なし
2. 実施体制の見直しの必要性 あり ・ なし
3. 環境経営目標、環境経営計画、活動内容、社会貢献活動などに対して
今後の活動への指示・要望・示唆など

今年から環境統括者の立場になりましたが、これまでも東富士・宮城地区の推進責任者として携わってきておりました。

今回、皆さんが活動している状況をあらためて確認し、地道に、愚直に環境活動を実行して頂いていることがよくわかりました。

環境負荷低減計画に対しては未達の項目もありますが、各地区のエコ委員会や全社の環境改善会議で皆で意見を出し合い、目標を再度見直し・確認しながら、確実に低減していくように、しっかり進めていきましょう。

カーボンニュートラルに向けたCO2排出低減として、2025年2月から岩手地区の購入電力を再生可能エネルギーに変え、電力使用によるCO2排出が実質ゼロになり、当社からのCO2排出量の大半が社有車使用に伴うものとなりました。
引き続き、無理のない省エネ活動は進めていくとともに、社有車HV化を進め、2035年までに2019年比で68%CO2排出低減を目指して、皆で考動していきましょう。

社会貢献活動については、宮城地区が積極的に活動をして頂いています。
各拠点への情報共有を密に行い、自分たちの身の丈に合った活動を選定し、SDGs・地域等に貢献する活動を継続してお願いします。

これからも引き続き、全員参加での環境活動にこだわり
オールE Jサービスで活動していきましょう。

2024年4月4日

環境統括者 牧元 浩一郎